

平成18年度 行政改革実施状況（改革プラン以外）

予算の削減

実施項目	取組	成果等
議員定数の改正	議員定数60人から26人に改正	人件費の減 総額70,530千円削減

事務の改善・経費の削減

実施項目	取組	成果等
庁舎清掃の見直し	職員による庁舎内清掃	清掃委託料の減 5,392千円削減
時間外勤務に伴う電気使用量の削減	毎日、17時30分に庁舎の全照明をいったん消す。時間外勤務を行う課は、管理職の裁量で必要最低限の点灯をする。	電気料金の削減 事務の効率化 2,142千円削減 (4庁舎合計)
ゴミの分別化	各事務所内のゴミを分別することにより可燃ゴミの減少、リサイクル化を図る。	効率的なごみ収集体制 再資源化への意識
織島浄化センター再利用水設備工事 【予算520千円】	し査スクリーンの洗浄水を上水道より処理水に変更し経費の削減を図る。 処理水再利用により上水道の基本料金内(8m ³)に押さえる。	17年度水道料 194,464円/年 1,680円×12月= 20,160円/年 19年度から 174千円の削減
水道蛇口に節水コマの取付	節水コマは止水パッキンが凸になっていて蛇口を開けたとき水の通る断面が小さくなり水が出る量を抑制する。約5%~10%の節水効果が見込まれる。(各庁舎、公民館等8施設 66箇所)	
地域イントラの統合	旧小城町と旧芦刈町の地域イントラを統合することにより、維持管理費の削減を図った。	4,562千円の削減
小城庁舎電算室空調設備の保守契約廃止	小城庁舎電算室の空調設備等の保守契約を廃止。	336千円の削減
電算システム維持管理経費の改善	ウィルス対策ソフトのライセンス契約を見直した。	19年度から 539千円の削減
桜城館の節電	使用量に応じた料金表を九電に依頼し電力需給契約(蓄熱空調割引)の見直しを行った。 館内の節電の徹底を図った。	前年比較 1,552千円の削減

病院電算契約の見直し	病院電算機器の保守契約をフルメンテ契約をスポット契約に変更。	1,000千円の削減
白衣リースの見直し	医師、看護師の白衣をリースから購入へ変更。(3年に1回の購入で2年分の経費節減)	3年間で 4,000千円の削減
バスの売却	バスH5年式(定員37人)を一般競争入札で売却。 最低価格498,750円、入札参加者数 33人	落札価格 1,746,780円 (税込み)
歳入歳出資金予定の登録システム化	各課の歳入歳出予定を入力できるシステムを構築し、資金運用の健全・効率化を図る。	19年1月開始
選挙開票時間の短縮	選挙管理事務計画書の作成、開被台の高さ調整、自動読取分類機の導入、事前審査係・枚数係数係の増員等により開票作業の迅速化を図った。	1時間8分の短縮 (前回県知事選挙と比較)

事業の見直し

実施項目	取組	成果等
バス運転、区長送送業務の見直し	区長・庁舎間送送を職員でおこないバス運転業務を民間委託。	人件費の減 2,000千円削減
外国青年招致事業の見直し	JETプログラムによる中学校ALTを民間委託化することにより、各学校に応じたプログラムの作成、指導力の向上、研修体制の充実を図る。	効率的なALTの配置 人件費等の減 1,350千円削減
市民病院の診療改善	産婦人科の夕方診療(火曜日 17:30~19:00) 内科自由診療【禁煙、薄毛、ED診療】(火曜日17:30~19:00) リラクゼーション外来の新設(6月から) 泌尿器科と循環器科の常勤化 小児科診療再開(6月から)	6月~5月まで受診者数 265名 6月~5月まで受診者数 34名 6月~5月まで受診者数 147名

行政サービスの提供

実施項目	取 組	成果等
図書館サービスの充実	<p>金曜日の開館時間を午後7時まで延長</p> <p>自動車図書館の巡回場所を増加</p>	<p>18年度実績</p> <p>三日月館 貸出冊数 3,146冊 貸出人数 750人</p> <p>小城館 貸出冊数 1,986冊 貸出人数 507人</p> <p>17年度 27箇所 18年度 32箇所</p>
市政情報の広域化	<p>ぶんぶんテレビの市政情報を文字放送から動画放送に切替えることにより、小城市情報をより視聴者に見やすい環境で発信する。</p>	<p>市民情報の利便性 市情報の広域化</p>
消費生活相談の強化	<p>週2回行っていた相談窓口を月水金の週3回に増加</p> <p>出前講座の開催(24箇所) 参加者 696人</p>	<p>市民相談の向上</p> <p>18年度相談件数 704件 17年度月平均 39.2件 18年度月平均 58.7件</p> <p>救済金額 29,536千円</p>
小城市緊急情報提供システム	<p>災害や犯罪・事件に関する幼稚園・小学校・中学校における緊急情報発信の重要性が高まっていることから、保護者や地域の青少年育成指導者等関係者が所有する携帯電話等を対象とした緊急メールシステムを導入。</p>	<p>9月15日からスタート</p>
わかりやすい17年度決算の広報	<p>17年度決算を家庭の家計簿にたとえて、わかりやすい小城市の家計簿を広報、HPでお知らせした。</p>	
観光名所PR名刺の作成	<p>市内の観光名所の写真や絵をデザインした名刺(20種類)を作成し、市民に活用してもらう。観光PRの協働化。</p>	
災害時における応急対策に関する協定を締結	<p>災害発生時に連携して情報収集や障害物の除去などの応急対策を行う協定を社団法人小城建設業協会と締結。19年3月15日</p>	
子育てガイドブックの作成	<p>小城市の子育てに関する事項をわかりやすくまとめたガイドブックを作成</p>	